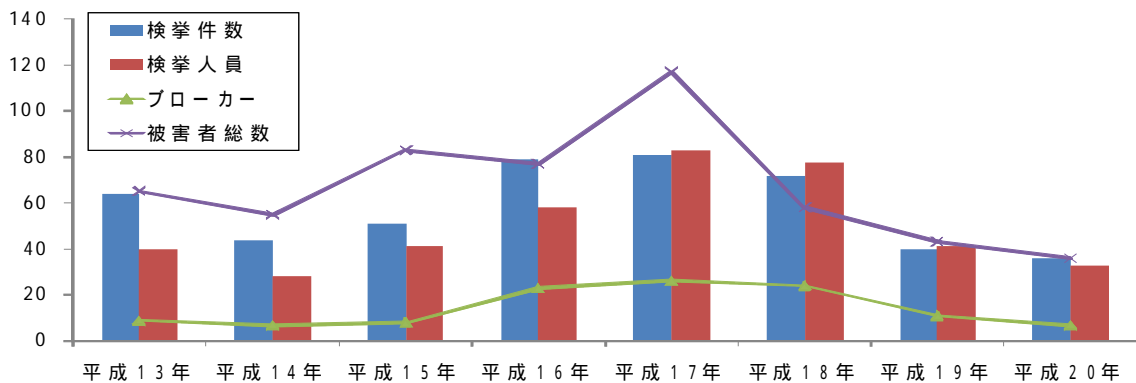


平成20年中における人身取引事犯について

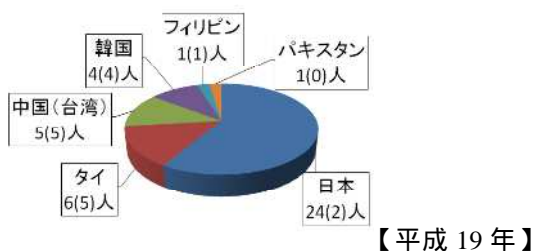
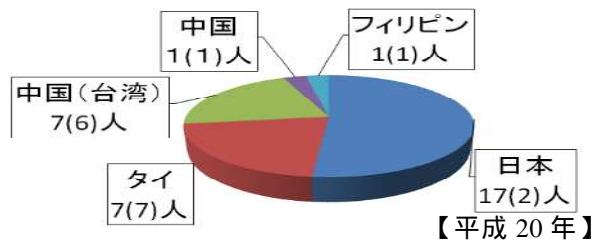
1 人身取引事犯の検挙状況等

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
検挙件数	64	44	51	79	81	72	40	36
検挙人員	40	28	41	58	83	78	41	33
ブローカー	9	7	8	23	26	24	11	7
被害者総数	65	55	83	77	117	58	43	36
タイ	39	40	21	48	21	3	4	18
フィリピン	12	2		13	40	30	22	7
中国(台湾)	7	3	12	5	4	10		5
日本							1	2
中国(マカオ)								2
中国		4	2					1
バングラデシュ								1
インドネシア	4		3		44	14	11	
コロンビア	3	6	43	5	1			
韓国				3	1	1	5	
ルーマニア					4			
ロシア				2				
カンボジア			2					
オーストラリア					1			
エストニア					1			
ラオス				1				



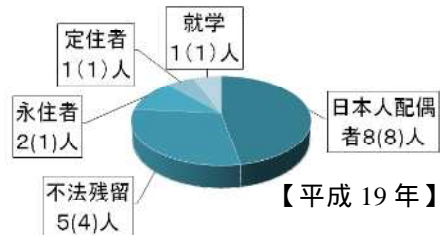
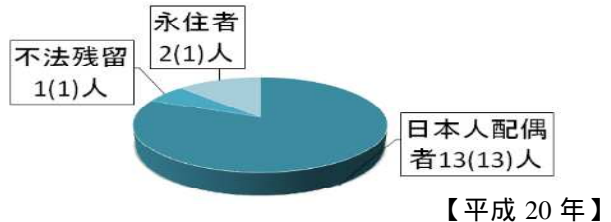
(1) 検挙状況(括弧内は女性)

ア 被疑者の国籍等



イ 外国人被疑者検挙時の在留資格等

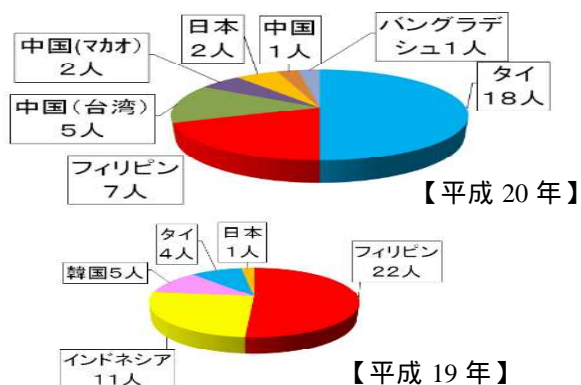
日本人配偶者の割合が増加



(2) 被害状況

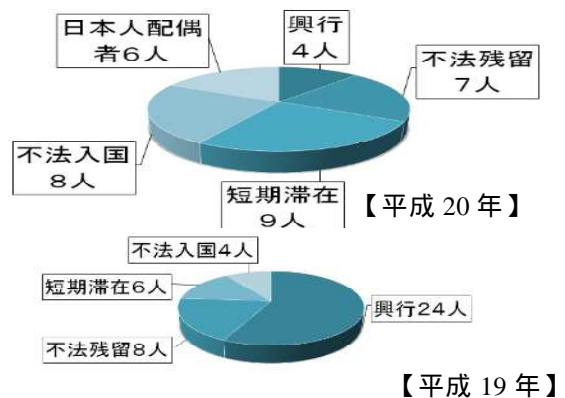
ア 被害者の国籍等

フィリピン人被害者の割合が減少

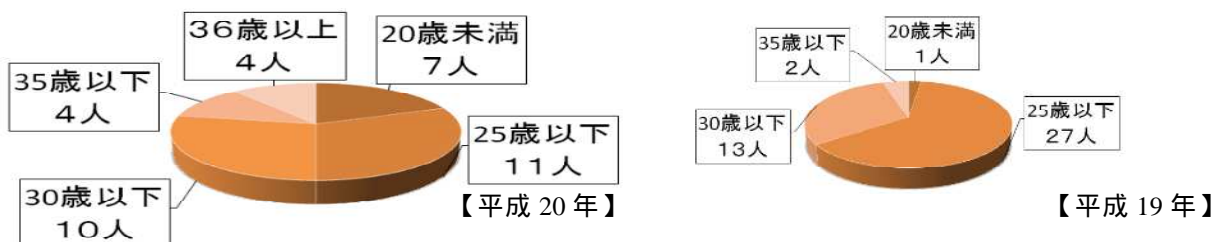


イ 被害者保護時の在留資格等

興行資格の割合が減少



ウ 被害者の年齢



エ 被害実態

被害女性に多額の借金を負わせて売春に従事させる事例や、旅券を取り上げたうえでホステスとしての役務や同伴出勤を強いる等の事例が見られる。

2 台湾ルート売春目的的人身売買事犯（千葉県警察）

台湾国内の送り出しブローカーが、新聞広告で日本でホステスとして稼働する女性を募ったうえ、成田市内所在の複数のスナックに1人30万円で売り渡し、買い受けた経営者らは、被害女性に数十万円の借金を負わせ、売春を強要した。

千葉県警察は、平成20年2月から同年10月までの間に当該スナックを摘発、台湾人女性経営者ら5名を売春防止法違反(契約・周旋・管理売春)等で検挙するとともに、台湾捜査当局に対してICPOルート等による台湾送り出しブローカーに関する情報提供と検挙要請を行った。

台湾捜査当局は、平成21年1月当該ブローカーを逮捕した。

